

事業番号	06 01 02	事業改善シート(令和3年度実施事業)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全研究所費		部局	環境部	課・室	環境政策課	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			実施期間	H7 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp	
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加 ⑦健康長寿日本一を維持						
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備		3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり		4-4 生命・生活リスクの軽減 4-5 地球環境への貢献		




1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの依頼検査及び調査研究等の実施 信州気候変動適応センターの運営 サイエンスカフェなど、環境学習の実施
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する試験検査、調査研究、情報の収集・提供の推進 1 迅速で正確な検査により行政のバックアップ 2 行政課題を反映させた調査研究の実施 3 県民に開かれた信頼される研究所
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> 行政検査、一般依頼検査の実施、環境の保全及び保健衛生に関する調査研究、放射能測定調査、環境学習等 安茂里庁舎:生活環境の保全、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 飯綱庁舎:自然環境の保全、気候変動影響及び適応策等に関する調査研究

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	環境保全等に関する研究数	件	23	25	↑	27	↑	25	達成
2	外部評価で概ね適切以上の評価の割合	%	100	100	→	100	→	100	達成
3	公開講座等で参加者の満足度(アンケート調査による満足・おおむね満足)の割合	%				92	—	80	達成
4									
5									

事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額			
	当初予算額	105,780	122,003	109,633
	補正予算額	-22,080	-25,953	-11,635
	合計(A)	83,700	96,050	97,998
	うち一般財源	58,604	61,770	71,429
	決算額(B)	75,513	77,470	82,294
職員数(人)	59.0	59.0	59.0	

成果指標及び目標値の設定理由	<p>1.長野県の豊かな環境の保全と保健衛生の向上を図るため研究を実施しており、研究数は研究の活性度の指標になる。 ※目標値:1件増加(前年度実績を基に、課題数の増加を期待して設定)</p> <p>2.外部の委員による評価により、研究所の事業や研究内容が県民の安心・安全につながっているか判断する指標になる。 ※目標値:前年実績に基づき設定(外部評価に当り、「概ね適切である」以上の評価を受けるべきとの考えから)</p> <p>3.県民参加による参加者の満足度は開催した講座等の啓発効果を測る指標となる。 ※目標値:参加者の8割くらいの方の満足を得たいとの考えから</p> <p>4. 5.</p>
達成状況の分析	<p>1.長野県の豊かな環境の保全と保健衛生の向上を図るための研究を実施し、研究数は目標を上回った。</p> <p>2.外部評価において、研究所の業務(事業)や各部における調査・研究内容が「適切である」との評価を受けている。</p> <p>3.関心があるテーマを設定し、Web開催にも取り組んだため、参加者のアンケートにおいて、満足・おおむね満足の割合が80パーセントを超え、多くの参加者に満足いただいた。</p> <p>4. 5.</p>

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの依頼検査及び調査研究等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 環境部門では、河川湖沼の水質モニタリング、大気常時監視、廃棄物処分場調査、生物多様性の保全に係る研究、福島第1原発事故に係る放射性物質検査などを実施。 保健衛生部門では、新型コロナウイルス感染症に係る遺伝子検査、感染症や食中毒発生時の原因究明、食品中の残留農薬等検査などを実施。 信州気候変動適応センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> 長野県における気候変動の研究とそれに基づく適応策の影響を研究するとともに、得られた知見を県民に還元。 サイエンスカフェの実施 <ul style="list-style-type: none"> 県民と研究所職員が直接対話する場として実施。 令和3年度は5回実施し、参加者は延べ108名。 	 <p>遺伝子解析検査</p>  <p>放射性物質検査</p>  <p>サイエンスカフェ</p>
------	--	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 行政施策の立案の科学的裏付けや危機管理事象の原因究明調査のため、高度な検査が求められているが、それに対応する技術力の維持や、測定機器の老朽化などの課題がある。 その時々々の行政課題やニーズに則した調査研究の実施が必要。 当研究所の実施している業務や調査・研究の成果について、県民に開かれた信頼される研究所とするため、広くわかりやすい情報発信が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 高度化する検査に対応した技術を維持するため、国などが主催する研修等への積極的な参加や、OJTによる技術の継承を進めると共に、計画的な分析機器の更新を進める。 翌年度に実施を予定する研究課題について早い段階から関係課等の意見を聴取し、研究課題に行政の視点やニーズを反映させる取組を継続していく。 サイエンスカフェや公開講座の実施、情報誌の発行など機会を捉えて広報活動を行う。

事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	環境保全研究所管理費		47,460 千円	45,057 千円	49,298 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)		
1	庁舎(安茂里、飯綱)管理経費	直接	庁舎光熱水費 燃料費 施設修繕費 等		
2	庁舎(安茂里、飯綱)点検等経費	委託	消防施設保守点検業務 空調設備保守点検業務 電気保守点検業務 等		
3					

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	環境保全研究所研究等事業費		28,053 千円	32,413 千円	32,996 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)		
1	研究等事業費	直接	試験研究検査用品消耗品 パソコンリース代 医薬材料費 等		
2	放射能調査費	直接	大気常時監視システムリース代 検査消耗品代 調査補助金賃金 等		
3	放射能等測定機器点検業務	委託	放射能モニタリングポスト点検 ゲルマニウム半導体研修気点検委託 β線自動測定装置点検 等		